



【学校教育目標】 笑顔いっぱい

Treasure Island



～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛

令和5年度 修了式

令和5年度、最後の日を迎えました。修了式では、子供たち一人一人に修了証書を手渡しました。

この1年間、学校教育目標『笑顔いっぱい』を合言葉に学校生活を送ってくれた子供たちです。弾けるような笑顔が見られた時もあれば、なかなか上手くいかない時もありました。私たちの生活に「晴れの日」も「雨の日」も必要のように、心悩める日も必ずあります。その毎日をしっかり生きていくことで、大人への階段を一步一步上がっているだと思います。

修了式では、ミッキーマウスの生みの親ウォルト・ディズニーさんの話を紹介しました。

今日は、1年間の締めくくりとして、ある人の話を紹介します。

ヒントその①…その人は、「絵を描くのが得意でした。」7歳の頃には、この人が描いた絵をお金を出して買ってくれる人もいたそうです。

ヒントその②…子供も大人もハッピーになれる場所「まほうの王国」を作った人です。この人知っていますか？

ヒント③ これをみると、わかる人も多いと思います。

そうです。ミッキーマウスの生みの親「ウォルト・ディズニー」という人です。ディズニーランドを作った人でも知られています。

ディズニーさんは、「得意な絵を生かして人が幸せになる仕事がしたい」と、漫画を描く仕事やデザインの仕事などをしたり、会社を作ったりしましたが、どれも失敗でした。でも、「魔法の王国を作りたい」とお



兄さんと一緒に会社をはじめました。そのためには多くのお金がいりますから、ミッキーマウスの絵を描いて、銀行にお金を借りに行きました。でも、あっさり断られたそうです。しかし、ディズニーさんはあきらめないうで、断られても次の銀行、断られても次の銀行と頼みに行きました。なんと、303回目にOKをもらうことができたのです。もしディズニーさんが302回であきらめていたら、この世にディズニーランドはありませんでした。ウォルト・ディズニーさんは、こんな言葉を残しています。「失敗が何だっていうんだ？ 失敗から学んで、また挑戦すればいいじゃないか。」ディズニーさんが、自分の夢を実現した力になったのは、「あきらめない心」「やればできる！」の思いだったといえます。

明日からの春休み、健康・安全に気を付けて過ごし、4月にまた元気に会うことを約束しました。

いじめ解決 100%を目指す取組を行ってきました！

2学期、いじめに関する調査を、子供たち・保護者の皆様に行いました。高島小中では、今年度「いじめ0（ゼロ）」との結果でした。これは、学校はもとより、家庭・地域との連携により、子供たちに「相手を思いやる心」がしっかりと育まれているからだと思います。

長崎市では「いじめは起こるもの」と捉え、その解決に全力を注ぎ、いじめ解決 100%を目指しています。もし、学校で把握できていないいじめ事案がありましたらご連絡ください。

今後も子供たちの様子をしっかりと見とり、適切な指導を行ってまいります。